

古瀬 里恵 パリ・トリオ 日本公演

RIÉ FURUSE
TRIO
JAPAN
TOUR

Semba

古瀬 里恵
ヴォーカル、ピアノ、作詞作曲、アレンジ

Rié FURUSE
熊本市出身、フランス・パリ在住。
熊本学園大学附属高校卒業。

幼少より音楽に親しみ、獨協大学フランス語学科在住中にジャズに出会ったことをきっかけに関東を中心にキャリアをスタート。活動の場を海外にも広げるため2009年パリに移住、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、中東でコンサートを行う。2010年、ホーチミンで行われた48 Hour Film Project Festivalで、作詞家のChris Mosdellと製作した自身の楽曲 "The One" を提供したショートフィルムが Best Music Award を受賞。パリに移住して約10年、日仏二つの異なる文化の中で自身のアイデンティティをようやく見出した今年、地元の熊本民謡をジャズにアレンジした楽曲と自身の楽曲で製作したアルバム「Semba」をリリース。2018年、パリで開催されたi-Sing Worldの日本代表シンガーに選ばれる。



Rié FURUSE Trio EP "Semba"

子供の頃によく歌った地元熊本の民謡「おてもやん」と「あんたがたどこさ(Semba)」を世界に通じる、エネルギーに満ち溢れたクールなジャズにしたいとアレンジした作品。パリで数年に渡り試行錯誤してようやく完成したスタイル。アルバムタイトルの「Semba」は、「あんたがたどこさ」の曲中に出てくる地元熊本の地名「船場」。 「Signals From the Lighthouse of Love」は、キャリアを始めて間もない20歳頃に作曲した作品。作詞を手がけたのは、イギリス人作詞家のクリス・モズデル(Chris Mosdell)。「あなたとわたし」を意味するフランス語タイトル「Toi Et Moi」は、パリに渡って数年経った頃の作品で、ロマンチックなパリをイメージし初めて作詞も手がけた。その詩をクリス・モズデルが磨き上げて仕上がった作品。「Vis Ta Vie (Live Your Life)」(「自分の人生を歩んで」の意味)は、作詞作曲を手がけた近年の作品。

ガブリエル・ゴス

Gabriel GOSSE

フランス、ルーアン(Rouen)出身。地方音楽院でクラシックとジャズギター、バーカッションを学んだ後、パリのフランス国立高等音楽院(CNSM)ジャズ／即興音楽科へ。Jazz-fusionグループ TotemやKabのギタリストとしても活躍。2013年には自身のトリオ LynXを立ち上げる。La Philharmonie de Paris, le Théâtre du Châtelet, le Duc des Lombards, Jazz à la Villette, la Gaité lyrique, Love Supreme Jazz Festival, le Festival Django Reinhardtなどの舞台で活躍。Archeo Jazzではマーカス・ミラーの前座を務める。

市瀬 詩子
バイオリニスト

Utako ICHISE

全九州高等学校音楽コンクール弦楽器部門において当時最年少で金賞及びグランプリ受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてヴァイオリン及び室内楽科の高等演奏家ディプロムを満場一致で取得。在学時よりフランス国立盲学校、パリコレクションなどで演奏。2012年パリ市庁舎の公式行事にて演奏及び音楽監督を兼任。また、アヴィニヨン国際演劇祭での主演舞台が日刊紙プロヴァンスの年間ベスト舞台100に選出、シネマテーク・フランセーズで単独主演短編映画が公式アーカイブされるなど活動の幅を広げ続けている。

マーク・ピュジヨル

Marc PUJOL

フランス、マルセイユ(Marseille)出身。Chinese Man recordsのメンバー。世界中をツアーリーして回る。彼の演奏スタイルには、好奇心と情熱が溢れおり、インスピレーションの源となる豊富で多様な経験から生まれる音楽のユニバースを感じることが出来る。Tété, Leon Parker, Hugh Coltman, Jacques Higelin, Talila, Pascal Parisot, Dubmatix, Deluxe, Taiwan MCなどのミュージシャンと共に演奏。同時に、シアター、ダンス、モダンサーカスの音楽制作にも参加。

宇土 雨乞い太鼓

Uto « Amagoi Daiko » Orchestra

2017年に国指定重要民俗文化財に指定された「宇土の雨乞い太鼓」の継承、再創造、海外発信を目指し、結成された「UTO15」。「宇土天響太鼓」、「太鼓芸能集団『袖衣』」、「宇土高校和太鼓部『鼓』三団体の選抜メンバーが組織する演奏者グループ。2016年、エディンバラフェスティバルフリンジで最高評価の5つ星を獲得したり、2017年、ホーチミン市で行われたジャパンフェスティバルに招待されるなど、海外でも高い評価を得ている。

パリを拠点に世界を舞台に活躍するジャズヴォーカリスト、ピアニスト「古瀬 里恵」がパリのトリオで行う日本初のコンサート。

フランス・パリ在住、熊本市出身ジャズヴォーカリスト、ピアニスト「古瀬 里恵」が、新世代ジャズをお届けする秋のコンサート。

コンテンポラリー・ジャズ、フュージョン、そしてジャズ・ポップからなる、その個性的なスタイルは、世界を飛び回るグローブ・トロッターならでは。これまでにロンドンやパリの老舗ジャズクラブ「サンセット・サンサイドジャズクラブ」、「ロニー・スコット」などで演奏。世界のオーディエンスから賞賛を得ている。

日仏交流160周年を迎える今年、第二の故郷、フランス・パリで活動を共にするトリオで初のアルバム「Semba」を録音。故郷の熊本民謡「おてもやん」や「あんたがたどこさ」をジャズにアレンジし、「Nipponese - Parisian Jazz」のを確立。現在アルバムはiTunesやSpotifyで世界展開中。

この記念すべきツアーリーに、同じくパリ在住で長崎出身のバイオリニスト、市瀬詩子が加わる。トリオと共に数年に渡り音作りを重ねてきた。

今年は、日仏交流160周年に加え、フランス人宣教師が建てた教会を含む長崎、天草地方の潜伏キリシタンが世界遺産に登録されるなど、日本とフランスにとって重要な年。

なお、熊本公演では、国指定重要有形民俗文化財の「宇土の雨乞い太鼓」との共演も決定。日仏文化が音楽を通して融合する。

【公式ホームページ】

URL: <http://www.riefuruse.com>

Facebook: <http://www.facebook.com/rie.furuse>

【お問い合わせ】

主催: ミジクリープ株式会社

〒860-0004

熊本県中央区新町2-4-16 2F

TEL: (096) 328-8070

E-mail: info@musiklieb.com

